

NPO法人 相馬フォロアーチーム

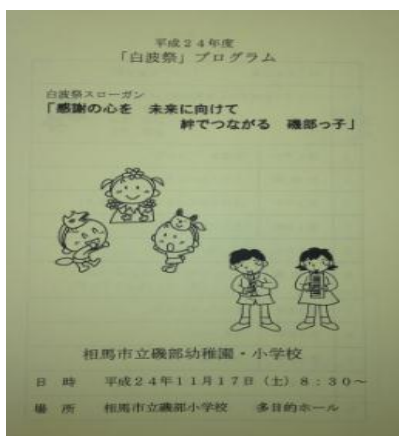
ニュースレター 12月号

発行日 平成24年12月1日

日に日に寒くなってきましたが、皆様はいかがおすごしでしょうか？紅葉した葉は散り始め、秋から冬へと季節が移り始めました。ニュースレター12月号では、フォロアーチームが支援をさせて頂いている磯部小学校で行われた『白波祭』と『ふるさと相馬子ども復興会議』の様子をお伝えしたいと思います。



白波祭



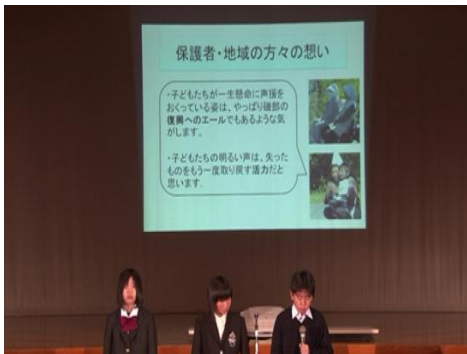
11月17日(土)に相馬市の磯部小学校で『白波祭』が行われました。『白波祭』とは、磯部幼稚園と磯部小学校が合同で行う学習発表会です。演劇やダンス、演奏、合唱など、この日のために子どもたちは頑張って練習をしてきました。発表当日は、保護者の方々や地域の方々も足を運ばれ、発表会場は多くの方々でいっぱいでした。例年は、体育館で行っていたようですが、3.11の震災で体育館が損傷を受け、現在新しい体育館を建設中のため、体育館は使えませんでした。そのため、昨年から校舎内にあるホールで行っています。体育館とは違い、ホールはそれほど大きくありませんが、その分こぢんまりとした会場で、アットホームな雰囲気でした。

今年の『白波祭』は“感謝の心を 未来に向けて 絆でつながる 磯部っ子”というスローガンのもとで、幼稚園生から6年生まで各学年が順に発表しました。各学年とも様々な工夫をしていて、子どもたちの真剣な発表に会場は笑いと感動に包まれていました。



最後は、“まけないタオル” という東日本大震災復興支援ソングを教職員の方々が演奏をし、子どもたち全員で歌い締めくくられました。“学校が復興の拠点となる” という江口校長先生の言葉のように、『白波祭』を通して、子ども達のエネルギーが地域の方々に伝わり、復興に向けての力になったように感じられました。

ふるさと相馬子ども復興会議



11月4日（日）に相馬市のはまなす館で『ふるさと相馬子ども復興会議』が開催され、市内の小・中学校 15 校の代表児童・生徒らが未来の相馬の姿についての提言を行いました。

テーマはエネルギー問題、放射線への正しい知識、職場体験を通して相馬市の産業に注目したものや、ご仕法（二宮尊徳の教え）から考える相馬復興など幅広い内容から、

映像資料とともに相馬の未来への考えを力強く発表する児童・生徒の姿が見られました。

子どもたちのきらきらした柔軟な発想力、まっすぐな実行力が震災復興の大きな力となると頼もしく感じる会議でした。

特に、津波の被害が大きかった磯部小学校の代表児童は、運動会など震災後に出来なくなってしまった行事が、今年になって少しずつ出来るようになったのは、先生方や地域の方々のおかげであると感謝の気持ちを述べ、“磯部で生まれ、磯部で育ち、磯部で大人になり、私たちの手で復興させたい”との力強い言葉には、多くの人が励まされました。

津波で多くのものを失った子どもたちも、前を向き、震災を乗り越えながら力強く生きていますと感じさせられました。

お子さんのご様子でご心配なところはありませんか？

事務所にて、無料の相談も承っております。下記まで、お気軽にご連絡ください。

【地図】

【お問い合わせ先】



〒976-0042
 福島県相馬市中村 2 丁目 2-15

Tel : 0244-35-6200
 Fax : 0244-35-6215
 Mail : sft@bz04.plala.or.jp
 HP : <http://www.soma-ft.org/>
 Twitter : somaft